

要請番号 (JL02418B32)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ラオス	H105 看護師		個別	新規	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

サバナケット保健短期大学

3) 任地 (サバナケット県カイソン郡) JICA事務所の所在地 (ビエンチャン特別市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機 で 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

2005年に日本の無償資金協力にて校舎改修および機材供与を受けた。看護コースとプライマリヘルスケアコース、助産師コースがある。専属教師は29人、外部講師は103人で、学生数は総数507人(プライマリヘルスケアコース213人、看護コース246人、助産師コース48人)である。過去にはMCNV、WHO、GlobalFund、UNFPAなどが支援を行っていた。現在、韓国のKOICAボランティアが2019年までIT分野にて活動を行っている。2009年から2011年まで1名の青年海外協力隊(看護師)が活動していた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先には実習室が1室あるが、実習を教える技術と経験のある教師がほとんどおらず、現在は教師経験を持たない看護師・助産師が各コースを教えている状態である。そのため、実習室の機材や教材が活用されていない。実習室の教材や機材を有効に活用し、実習内容を充実させ、学生の理解を深める目的でボランティアが要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.実習室での効果的な授業のすすめ方を教師にアドバイスを行う。
- 2.実習室で授業を行う際に、人形や道具がない場合、こういった補助的な教具を作って指導すればよいのか、教師にアドバイスを行う。
- 3.学生に基礎的な看護や、救命救急、母子保健などについて指導する。
- 4.病院実習の際、学生に同行し、アドバイスを行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

車いす、ストレッチャー、血圧計、体重計、体温計、顕微鏡、聴診器、人体骨格模型、解剖模型、吸引器

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・プライマリヘルスケアコースの教師1名(女性、40代)
- ・看護師コースの教師1名(女性、30代)
- ・助産師コースの教師1名(女性、20代)

5) 活動使用言語

ラオ語

6) 生活使用言語

ラオ語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（看護師）

[学歴]：（大卒）保健医療 備考：同僚への指導を期待されているため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：学生と同僚への指導するため

[参考情報]：

- ・新人教育等の指導経験、プリセプター経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（15～40℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】